

26年6月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/6月	7月	8月
生産動向	国産材	△ 8.3	0.0	△ 25.0
	WW集成管柱	△ 62.5	△ 25.0	△ 37.5
	RW集成平角	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	米マツ集成平角	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	△ 41.7	△ 16.7	△ 16.7
	WW集成管柱	△ 50.0	△ 50.0	△ 62.5
	RW集成平角	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3
	米マツ集成平角	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
	WW集成平角	—	—	—

国産材、WW管柱、RW平角及び米マツ平角集成材の生産及び出荷はいずれも、おおむね減少傾向で推移。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	26/6月	7月	8月
スギ集成管柱	△ 25.0	△ 25.0	△ 12.5
ヒノキ集成柱	△ 25.0	△ 25.0	0.0
ヒノキ集成土台	△ 12.5	△ 12.5	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
RW集成平角	△ 16.7	△ 33.3	△ 16.7
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
米ヒバ土台角	△ 50.0	△ 50.0	0.0
カラマツ集成平角	0.0	0.0	0.0

スギ管柱、WW管柱、RW平角及びWW平角集成材の出荷価格は弱保合で推移、ヒノキ柱及び同土台は6,7月の弱保合が8月には保合に、カラマツ土台、米マツ平角及びカラマツ平角集成材は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)・依然、カラマツラミナの入荷好転せず、ラミナ不足で生産効率に影響している。スギ集成材の増産を図るもラミナ供給間に合わず、6月は前月並みの生産量に留まる。駆け込み需要の反動減で4月以降需要減退傾向も、ブランド化事業、利用ポイント物件など予想以上の落ち込みは見られず。6月以降パワービルダー向け集成材の引き合い旺盛で、原料事情からカラマツ減少分をスギ集成材で補填する予定。

・ヒノキは5月よりも更に悪く、大手ビルダーの仕事も成約に近づかない、メインメーカーの供給が追いついてきたためか。最低限の生産に絞っても、出て行かず在庫増えてゆく。米ヒバも3月以降右肩下がり6月も上方修正されない。生産順調だがメインサイズ(4m×10.5)が思うようにはけず在庫量過去最大に。大きな需要の波が来ないと販売は大変。・外材が特に西のほうから値下げ傾向がある。原因は判らないが荷動きは少し減少。

(構造用集成材出荷価格動向)

・スギは原木、ラミナとも手当順調で価格も一部弱含み、製品価格は大手住宅メーカー中心に値下げ要請あり、競合製品や市況から値下げには応ずるも価格折り合わず交渉難航。カラマツは競合製品が弱含みに転じるも4月のラミナ大幅値上げが急激に採算を悪化させ、値下げできる環境にない。価格面から樹種転換も少なくない。当面ラミナ価格下振れする気配無く、現状価格をどこまで維持できるか課題。

・6,7月までは売れ行きに応じ価格弱くならざるを得ず、ヒノキの下落が先行し、米ヒバもこの先値下げ要請が予想される。